

ジャガイモ事典刊行の経緯と改善課題

(財) いも類振興会 理事長 狩谷 昭男

はじめに

「ジャガイモ事典」は2012年3月8日に、(財) いも類振興会の企画編集により発行され、(株) 全国農村教育協会から発売されている。本事典は、1年11か月を要して完成した。この間、小巻克巳企画編集委員長をはじめ企画編集委員8名、企画編集協力者2名、執筆者69名のほか、発売元である全国農村教育協会の元村廣司専務取締役から多大なご協力・支援をいただいた。ここに厚くお礼申し上げたい。

(財) いも類振興会は、2010年10月で創立60周年を迎えた。この記念事業の一環として「サツマイモ事典」(2010年1月刊行)と「ジャガイモ事典」の刊行を企画したものであり、いも類に関する双子の事典がここに誕生したことを喜び感謝している。ジャガイモ事典の刊行にあたり企画編集の目的・経緯を紹介し、併せて、将来の改訂版に備えて留意すべき改善課題について総括しておきたい。

企画編集の経緯

いも類振興会は、サツマイモ、ジャガイモなどいも類の生産振興と消費拡大を主な目的に事業活動を進めており、「ジャガイモ事典」の刊行も調査研究事業の一つとして位置づけている。



ジャガイモ事典企画編集委員会(以下「編集委員会」という。)は、小巻克巳・企画編集委員長(農研機構東北農業研究センター所長)、森 元幸・企画編集副委員長(農研機構北海道農業研究センター研究調整役)、小林 仁(元農林水産省農業研究センター所長)、小村国則(元長崎県愛野馬鈴薯支場長)、林 一也(東京家政学院大学教授)、丸山恵史(東北農政局生産部長)、村上紀夫(ホクレン種苗課主任技師)、狩谷昭男(いも類振興会理事長)の8名で構成した。企画編集の事務局は、いも類振興会が担った。

刊行までの主な経緯は、次のとおりである。企画編集委員は北海道、東北、九州での勤務者が多かったため、地理的・予算的な制約から一同に会することがサツマイモ

事典編集の時に比べて少なく、編集作業の多くはE-mail等の通信手段に頼らざるを得なかった。

- (1) 2010年4月から事典の企画編集準備に入り、同年5月に企画編集委員の委嘱手続きを行った。E-mailによる編集委員会は2010年7月20日～8月5日と8月12日～8月24日の2回実施し、事典の目次構成を中心に、企画編集要領、原稿執筆要領、用字・用語統一表の内容について事前調整を図り、それぞれの内容を固めていった。
- (2) 2010年8月30日に第1回編集委員会を開催し、事典の①企画編集スケジュール、②企画編集の目的と基本方針、企画編集要領、原稿執筆要領、用字・用語統一表、③目次構成、各章各節の取りまとめ責任者、執筆者を決定した。なお、未定となっていた一部の執筆者については、9月のE-mailによる第1回編集幹事会で決定した。
- (3) 原稿の執筆依頼は、2010年9月27日と10月1日の2回に分けて行った。原稿の提出期限は2011年2月28日と定めた。しかし、一部の執筆者の原稿提出が遅れたこともあり全ての原稿提出が完了したのは2011年7月上旬であった。
- (4) 2011年7月20日、第1次編集稿がまとまったので企画編集委員等へ送付し、修正意見を求めた。この段階では各原稿の内容が精粗まちまちで、記述内容の不統一、事実誤認なども多く、編集作業の前途が多難な状況であった。
- (5) 8月29日に第2回編集委員会を開催し、事前に提出された修正意見をベースに、客観性を担保する視点から第1次編集稿の内容調整(添削)に入った。更に、今後の編集スケジュールについても了解を得た。

- (6) 9月30日、第2次編集稿がまとまったので、企画編集委員等による内容調整を進めた。
- (7) 10月26日、第3次編集稿がまとまったので、執筆者による校正を依頼した。これと併せて企画編集委員等による内容調整も続行した。
- (8) 12月9日、初校が完成し、企画編集委員等による再度の内容調整・事実確認に入った。
- (9) 12月22日、第2回編集幹事会を開催し、表紙・口絵を含む事典全体の内容に関する最終調整を行ったほか、索引に掲載する品種、人名、事項についても確認した。
- (10) その後も細部にわたる校正を続け、2012年2月10日に校了し事典の編集を終えた。

企画編集の目的と基本方針

(1) 目的

ジャガイモの来歴、生産から消費、文化に至る全体像に関し、体系化、理論化されて取りまとめられたものはこれまでなかった。このため、来歴、作物特性、生産、流通・加工、消費、文化、外国事情に関する事項・用語を客観的に解説した「ジャガイモ事典」を刊行することとした。

刊行の目的は、ジャガイモの振興を図るため、生産者、流通・加工業者、研究・指導者にジャガイモに対する関心と理解を促進するほか、広く学生、消費者にもジャガイモの全体像について全てが分かる入門書的な役割を果たすことを狙いとした。

(2) 基本方針

企画編集の基本方針は、前述の目的に即して次のとおりとした。

- 1) 本事典の利用対象者は、直接又は間接的にジャガイモの仕事に従事している

者、研究・指導者、小・中学校、高校の教員を主体に、広く学生、消費者も視野においた。したがって、極力、平易な記述に努め、ジャガイモへの理解が深まるよう配意して編集にあたった。

- 2) 事典の構成、収録事項・内容については、ジャガイモの生産、流通・加工、消費のほか、来歴、文化、外国の生産状況、文献・資料等についても取り入れることとした。そして、基本的で使用頻度の高い重要な事項・用語については、基礎的な解説を重視し、必要に応じて専門的な解説も加えた。
- 3) 事項、用語の解説にあたっては、客観的・具体的な内容となるように留意し、簡潔な文章による取りまとめに努め、必要に応じて引用文献を明記した。また、専門的で主要な事項・用語については、英語表記を行った。

事典の構成と狙い

(1) 基本的な視点、考え方

- 1) 事典の構成については、ジャガイモ全般について広く捉え、客観性を有した理解のし易い総合的な事典を目ざして、各章・節を構成した。また、本事典はジャガイモの入門書としての役割も有することに留意し、各章・節の取りまとめにあたっては、各章、場合によっては各節の前段でその内容を総論的に概説し、後段では各論的に事項・用語の解説を行った。
- 2) 収録した610の主な事項・用語は、基本的かつ緊要度の高いと判断されるものを優先し、選定した。
- 3) 事項・用語の配列順序については、記述内容の理解が深まるよう一定の流れに

沿った配列に努めた。更に、同じ領域、性格のものをグループ化するなどの工夫を加えた。

(2) 事典の構成

事典は、7章と33節から構成されている。口絵 カラー写真12頁（品種、料理、栽培、病虫害・生理障害）

I 章 ジャガイモの起源と伝播

1 節 分類・起源 2 節 伝播

II 章 ジャガイモの特性

1 節 形態・生理・生態 2 節 遺伝・育種 3 節 いもの成分 4 節 機能性

III 章 ジャガイモの生産と普及

1 節 品種 2 節 栽培・貯蔵 3 節 病虫害、生理障害 4 節 種いもの生産と流通 5 節 生産の動向と産地形成

IV 章 ジャガイモの流通・加工・消費

1 節 用途別消費の動向 2 節 ジャガイモでん粉 3 節 輸出入 4 節 ジャガイモをめぐる行政施策

V 章 ジャガイモの食べ方

1 節 ジャガイモの食文化 2 節 食品としての特徴 3 節 調理法 4 節 料理 5 節 海外のジャガイモ料理

VI 章 ジャガイモをめぐる文化

1 節 呼び名 2 節 ジャガイモの資料館 3 節 ジャガイモの記念碑 4 節 団体・研究会 5 節 食農教育といも祭り 6 節 ジャガイモの文学、芸術 7 節 トピックス

VII 章 世界のジャガイモ事情

- 1 節 世界のジャガイモ生産と消費動向
 - 2 節 主要国の生産、消費動向 3 節 国際研究機関等 4 節 外国の採種体系 5 節 海外技術協力 6 節 国際いも年
- ジャガイモの文献・資料

主な今後の改善課題

ジャガイモ事典の編集を顧みると、サツマイモ事典と同様に反省すべき点が残った。主な改善課題は下記のとおりであり、これらを将来の改訂時には出来るだけ活かしたい。

- (1) 当初、高校卒業程度の学力を有すれば事典内容が理解できるように、記述内容は、平易で分かり易いものにする編集方針であった。しかし、結果的には一部において、サツマイモ事典以上に専門的で難しい内容を含むものとなった。特に、Ⅰ章Ⅰ節の分類・起源、Ⅱ章Ⅱ節の遺伝・育種では、事項・用語の性格上やむを得ない面があったとは言え、専門的で難解な解説から脱しきれなかった。
- (2) 解説内容の充実度合いの視点からみると、Ⅰ章ジャガイモの起源と伝播、Ⅱ章ジャガイモの特性、Ⅲ章ジャガイモの生産と普及については、体系的かつ専門的に取りまとめられていると評価できよう。反面、Ⅳ章ジャガイモの流通・加工・消費については、節の構成、解説すべき事項・用語数、解説内容を含めて不十分な点が多く、改善すべき課題として残った。
- (3) 執筆者は、総勢69名であった。それゆえに、執筆者へは予め原稿執筆要領等を示し意思統一を図った。しかし、最初に提出された原稿は表現や解説内容に精粗の差が著しく、記述表現の不統一、内容の事実誤認、記述の重複がかなり多かった。このため、執筆者に対する記述内容の事実確認等を含めて、原稿内容の調整に多くの労力を要した。

結びに

事典の完成までには、既刊のサツマイモ事典編集の場合と同じく多くの日数と細心の注意が必要であった。編集作業は大変であったが、サツマイモ事典編集の先例によって学習を重ねていたので、作業手順的には円滑に編集を進めることができた。

ジャガイモ事典は、2012年3月上旬から全国の主要な書店で発売されている。ジャガイモ事典が、サツマイモ事典と同様に読者の皆様から高い評価をいただき、活用されることを願ってやまない。それによって、ジャガイモ、サツマイモに対する関心と理解が一段と深まり、将来、いも類の生産振興と消費拡大に結びついて行くことを念願している。

結びに、本事典を購読いただいた皆様から忌憚のない読后感想と、改訂版に向けての改善意見をお寄せいただければ幸いである。

* ジャガイモ事典

B 5 判、416頁、定価5,040円（本体4,800円＋税5％）

編集・発行：(財) いも類振興会

〒107-0052東京都港区赤坂6-10-41

ヴィップ赤坂303

電話03-3588-1040 FAX03-3588-1225

imoshin@fancy.ocn.ne.jp

発売：(株) 全国農村教育協会

〒110-0016東京都台東区東1-26-6

電話03-3839-9160 FAX 03-3833-1665

hon@zennokyo.co.jp